

第47回 全国学童保育指導員学校

西日本 岐阜会場

日時 2022年6月5日(日) 9:00 受付開始 10:00 開会

形式 オンライン開催 全体会：ウェビナー配信

講座：Zoomとウェビナー配信

※申し込みと入金を確認できた方だけに、ウェビナーとZoomのURL等をメールします。

●受講料 2,500円(資料代込み)

●日程 9:00 10:00 12:00 13:30 16:30

受付

全体会

休憩

講座(9講座)

12:45 午後の受付開始

全体会

●基調報告 岐阜県学童保育連絡協議会

●全体講演 『コロナ時代と子どもの願い
—あたりまえだけど大切なこと—』

【講師】春日井敏之先生

立命館大学大学院教職研究科(教職大学院)



岐阜県恵那市出身。京都府の公立中学校にて社会科教諭として20年余り勤務。生徒指導、教育相談等を担当。2001年より立命館大学文学部教育人間学専攻に。2017年～2019年大学院教職研究科長。専門は、臨床教育学、教育相談論。1990年代より地域における不登校支援に参画、「登校拒否・不登校問題全国連絡会」世話人。主著は『思春期のゆらぎと不登校支援』(ミネルヴァ書房)、『よくわかる教育相談』(共編著、ミネルヴァ書房)、『ひきこもる子ども・若者の思いと支援』(共編著、三学出版)、『大学でのピア・サポート入門』(共編著、ほんの森出版)等

●主催 全国学童保育連絡協議会／岐阜県学童保育連絡協議会

◆事務局より

●お申し込み・お問い合わせ先●

岐阜県学童保育連絡協議会

TEL.FAX 0573-22-9722

Eメール gifu-gakudou@rondo.ocn.ne.jp

—振込先—

【名義】全国学童保育指導員学校岐阜実行委員会

郵便局から振り込む場合

【記号】12420【番号】22816781

銀行から振り込む場合

【店番号】248 普通預金 【口座番号】228167

- ・下記のURLまたはQRコードから、申し込みいただき、受講料2,500円(1人あたり)をお振り込みください。
- ・入金確認をもってお申し込みが完了となります。
- ・1メールアドレス(アカウント)で複数参加される場合は、人数分のお申し込みとお振り込みが必要です。
- ・午後の講座は定員制、先着順です。

◆申し込みフォーム

<https://forms.gle/iUzaffY37vhZVbkB7>



申し込み締め切り 5月20日(金)

※5月21日(土)以降のキャンセルは返金できません。

//お願い//事務局から事前にパンフレットを送付します。追加資料などは、メールでお届けします。印刷するなどして、当日はお手元にご用意のうえ、ご参加ください。

第47回 全国学童保育指導員学校 西日本 岐阜会場 講座一覧

13:30～16:30 (12:45～受付開始)

※敬称略

分類	番号	テーマ	学習のねらい	定員	講師/助言者	世話人	分類	番号	テーマ	学習のねらい	定員	講師/助言者	報告者	世話人	
講義中心の子どもの発達や集団づくりなど基礎的な理論との内容	基礎講座	1	学童保育の役割と指導員の仕事	はたらく保護者の切実な要求から生まれた学童保育。その役割を理解するとともに、子どもに毎日の継続した生活を保障する学童保育指導員の仕事についての基本をまなびます。	80	竹内隆人 (愛知・指導員)	佐藤恵美子 (愛知・指導員)	学童保育の実践をゆたかにするため、具体的な実践報告に基づいてふかめあう	6	高学年をふくむ学童保育の生活	学童保育で高学年の子どもたちがどのように生活しているかを交流し、高学年の子どもたちの発達要求をとらえた生活づくりや大切にしたいことを実践をもとにまなびあいます。	40	折出健二 (愛知教育大学)	山本大地 (愛知・指導員)	仁城奈美子 (愛知・指導員)
		2	子どもの理解とはたらきかけ	学童保育で生活する子どもの特性をふまえながら、学童期の子どもの発達に対する理解をふかめ、子どもをとらえる視点をまなびます。	80	市川建史 (愛知・指導員)	高橋瞳 (愛知・指導員)		7	保護者に生活伝え、考えあう	学童保育の役割や内容を保護者に伝えていくことが大切になってきています。子どもの成長に学童保育の生活がどのようにかかわっていくかを保護者とともに考えあう視点をもち、伝えあうことの大切さを実践をもとに学びあいます。	40	原田明美 (元桜花学園大学)	東礼子 (三重・指導員)	森下絹子 (三重・指導員)
		3	子どもの権利の観点からみる学童保育の生活	子どもの権利を学童保育で守ることがますます重要になってきています。学童保育の生活で何を大切にすべきかを考えます。	80	久保田貢 (愛知県立大学)	佐熊秀樹 (三重・指導員)		8	しょうがいのある子どもをふくむ生活づくり	本人への関わり、子どもたちへの関わり、保護者達への関わりなど、しょうがいのある子どもたちをどのように理解してどう実践をしていけばよいのかについて、指導員が綴った実践レポートを通して、具体的に話し合い、学びあいます。	40	木全和巳 (日本福祉大学)	西尾香子 (岐阜・指導員)	井手薫 (岐阜・指導員)
	理論講座	4	しょうがいのある子どもの理解をふかめともにそだちあう	しょうがいのある子、発達しょうがいのある子どもをどう理解するかをまなび、受け入れ体制や課題、ともにそだちあう生活づくりと指導員のかかわりをまなびます。	80	佐々木将芳 (静岡県立大学)	佐藤幸平 (愛知・指導員)		9	コロナ禍の学童保育をめぐる情勢	学童保育をめぐる情勢とコロナ禍での学童保育の在り方を学びます。	80	垣内国光 (明星大学)		松田圭太 (三重・指導員)
		5	子どもの発達をまなぶ	「発達」のとらえ方と子どもの発達の道筋をていねいにまなび、学童期の子どものゆたかな発達を保障するために学童保育実践で大切にしたいことをまなびます。	80	春日井敏之 (立命館大学)	白杵真吾 (岐阜・指導員)								

※実践講座はブレイクアウトルームを利用してグループワークをする講座もあります。お1人ずつのメールアドレスをおすすめします。